

●丹後王国「食のみやこ」

<p>前回検証結果 (平成25年度)</p>	<p>見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度に入園者が8万人台まで減少、その後地元市町や丹後地域の農業商工観光関係の団体個人で結成された丹後あじわいの郷協力会との連携により、月例祭の開催など賑わいを取り戻し最近では11万人程度に回復してきた。 ・また、「丹後食の王国」の拠点施設としての位置づけ、さらに今年度からは丹後の若手農業経営者を育成する「丹後農業実践型学舎」として活用を図っている。 ・今後は、今回の検討委員会の意見を踏まえ、「丹後の食の拠点」・「農業漁業等の人材育成の拠点」・「幅広い交流の拠点」としての役割を担う施設として深く検討していく。
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月にリニューアルオープンを実施。 ・丹後地域2市2町の住民を対象とした優待パスポートを発行。 ・第三種旅行業の許可を得て、農家民宿や他の観光施設と連携し着地型観光に取り組む。 ・地元食材を活用した料理メニューや加工品の開発・販売を実施。
<p>取組の成果</p>	<p>◇リニューアル後の平成27年度は、利用者数が5倍の過去最高を記録。</p>
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<p>◆地域経済に寄与する運営が必要。</p>
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □民間活力を導入し利用率の向上など大きな改善が認められる。 □地域商品化の展開により、丹後地域の地域創生拠点としての一層のにぎわいが期待される。 □今回のリニューアル効果として、地域経済にどれだけ寄与するか検証が必要。 □府の負担については、近隣の雇用対策という点も踏まえて総合的な検討をした場合、評価する。 □リニューアル効果は一気に落ちていくことが予想される中、余力のある現時点で、将来的な方向性を見据えた調査研究を提案したい。
<p>京都府の検証結 果及び対応方向</p>	<p>継続</p> <p><施設運営に関する意見></p> <p>◎今回のリニューアル効果が地域経済にどれだけ寄与するのか検証しつつも、リニューアル後の将来性を踏まえた運営を計画すること。</p> <hr/> <p><今後の対応></p> <p>○入園者の確保を図るため、地元食材を利用した新メニュー開発や丹後の食・文化・伝統を活かし地域と連携した魅力あるイベント等を充実させる。</p>

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○丹後地域の地域創生拠点として、丹後の道の駅や観光農園等地域と連携した丹後のPR活動や観光施設と連携した着地型観光の推進、丹後の農林水産物や加工品のPR・販売を通じた丹後地域全体のブランド化により、地域経済へのさらなる貢献を図る。○丹後農業実践型学舎・海の民実践型学舎等、人材育成の拠点として、丹後の「食」を担う次世代の人材育成をさらに展開する。 |
|--|--|